

PRESS RELEASE

奈良のトビラ 6月のマンスリーイベント 「奈良の大和川のトビラ」

平素より平城宮跡歴史公園の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平城宮いざない館では、『奈良のトビラ』イベントを毎月開催しております。今月は6月14日(土)に、帝塚山大学文学部日本文化学科准教授・岡島永昌氏による講演『大和川の舟運から知る奈良』を開催します。

奈良と大阪を結ぶ大和川は、江戸時代には物流を支える重要な水路として機能していました。Webメディア「奈良、旅もくらしも」で連載中の「大和川がつなぐ」の著者である岡島氏のお話が聞ける貴重な機会です。

つきましては、ぜひ取材ならびに記事掲載のほど、よろしくお願い申し上げます。

講演 大和川の舟運から知る奈良

帝塚山大学 文学部日本文化学科 准教授
岡島 永昌 (おかじま えいしょう) 氏

参加費 **500円**
<資料代>

時間 **14:00 ~ 15:30**
場所 **平城宮いざない館多目的室**

お申し込みはコチラ

6月のマンスリーイベント
奈良のトビラ
大和川のトビラ

奈良盆地と大阪を結ぶ大和川は、江戸時代には両地の物流を支える重要な水路として機能していました。今からは想像もつきませんが、大和川を何艘もの船が行き交い、多くの物資を運んでいたのです。本講演では、Webメディア「奈良、旅もくらしも」で連載中の「大和川がつなぐ」の内容をもとにしながら、著者である岡島永昌氏が大和川の舟運に関わった人びとやゆかりの場所、そして、舟運から知れるあんな奈良やこんな奈良を皆様にご紹介します。

岡島 永昌 (おかじま えいしょう) 氏 プロフィール

帝塚山大学文学部准教授。1974年、奈良県王寺町生まれ。天理大学文学部、大阪市立大学文学研究科前期博士課程修了。2000年に王寺町役場に入庁し、町史編纂事業をはじめ埋蔵文化財発掘調査など文化財業務全般を担当。2025年3月に退職して同年4月から現職。専門は日本近世史で、奈良県内に残る古文書から江戸時代の村社会や大和川舟運のこと、明治時代の鉄道トンネル工事のことなどを研究。また、地域の歴史や文化財の活用にも取り組む。著書に「思いつくまま、歴史の旅—王寺まち歩き100話」など。

『奈良のトビラ』は…

奈良の様々なモノやコトを全国へ紹介するプロジェクトです。奈良の地域編集者を中心に、観光事業者やイベントプロデューサーなどが協同で企画・運営しており、奈良で生まれた商品や観光情報、各市町村の情報を幅広く伝えています。また、平城宮いざない館のショップ「奈良のトビラ・朱雀門店」もプロデュースしています。

【お問い合わせ】

企画内容について 奈良のトビラ担当：生駒あさみ asami@sukuhido.com 公式サイト <https://naranotobira.com/>

会場について 平城宮跡歴史公園 平城宮跡管理センター 広報担当者 榊、河北
TEL 0742-36-8780 FAX 0742-36-8781
〒630-8012 奈良県奈良市二条大路南三丁目5番1号 <https://www.heijo-park.jp/>

公式 SNS 随時更新中！

